

# F2チタンの話

2024年11月16日

秋山満夫



**NIKON KENKYUKAI TOKYO**

# 背景

1973年 ニコンFブラック購入  
5年～6年が経過  
もう1台ほしい

F販売終了 高い中古品

F2はマルすぎる  
と、若気の至り

1979年 5月30日(水)  
ニコンF2チタンボディ  
突然発売予告ポスター  
カメラのきむら、ミヤマ商会

本家ニッコールクラブ誌  
アサヒカメラ、カメラ毎日、日本カメラ  
一般の新聞、雑誌 にも告知なし

1979年 6月 1日(金)晴

F2チタンボディの発売日。渋谷西武、渋谷東急本店、新宿伊勢丹、池袋西武に状況を聞く。いずれも「今日1、2台しか入荷しておらず予約分でおしまい」。

高額商品に強いはずの当時の有名百貨店でこのありさま。渋谷東急本店が予約を受けてくれたので申し込む。

## まことしやかな話「金型廃棄編」

もうF2は製造中止になって新型が出る（本当に翌年F3が出た）。金型が壊れるまでチタンでプレスすることになった。2000台が限界。

当時カメラ店で聞いた話。なかなか迫力はあるがどこかあやしい。

が、ホントらしい。

## まことしやかな話「潜水艦編」

ソ連の原子力潜水艦が廃棄となり頑丈な船殻の金属チタン材が西側の市場に出た。日本光学が潜水艦を丸ごと買い取り、特別の金型を新たに起こして製品化されたのがニコンF2チタンボディ。と、聞いた。

作り話にしてはよくできている。

販売価格

98,000円

割引なし、消費税がないころ

予約販売

そもそも予約を受け付けてくれない

抱き合わせ販売の店も

(交換レンズ 2本購入が条件)

F2T 3台購入  
同じカメラを 3台買ったのはこの時だけ

7月 池袋 キクヤ

8月 池袋 キクヤ

8月 渋谷 東急本店

デパートにカメラ売場があった

# 1979年当時の事情

2台目を買う現金がない

会社に貯金通帳

銀行のキャッシュカード持っていなかった

先輩のカードを借りてお金を下ろした

すべてゆるかった時代

# F2T カスタマイズ

新宿にサービスセンターが出来た頃

ご相談と裏メニュー

御法度の異部品換装(3年に渡り3回)

刻印彫刻は本名のみ  
すべてゆるかった時代

# まとめ

F2でもチタンなら使える！

若気の至りのお話でした。



**NIKON KENKYUKAI TOKYO**